

ふるさと歴史散歩

〔第150回〕

府中町の野鳥⑧

ホトトギス



徐々に夏の訪れを感じられ

る頃になりましたが、みなさんは夜更かしをしていませんか？5月下旬～6月にかけて、遅い時間に就寝すると、「キョッキョッキョッキョッキョ」という独特な6音節の鳴き声が聞こえてきます。日本人に大変なじみの深いホトトギスの声です。和歌に最も詠まれている鳥であり、「鳴かぬなら・・・」のたとえで

も有名です。

ホトトギスは他の夏鳥よりもかなり遅れて5月下旬頃に渡来します。前述の特徴的な声で、夜も盛んに鳴き続けます。その様は、まるで「鳴いて血を吐くホトトギス」と言われる通り、とても激しく聞こえ、耳に残ります。

また、この鳥はカッコウの仲間、他の種の鳥の巣に卵を産んで育ててもらおうという

「托卵」という習性をもっています。ホトトギスはウグイスが主な托卵相手で、ウグイスの卵の色に似たチヨコレイト色の卵を産みます。産み付けられた卵はウグイスのものより早く孵化し、ウグイスの卵をすべて背中で押し出して巣を独り占めするのです。大きく育った雛は、仮親のウグイスにお礼の一つも言わず、さっさと巣立っていきます。

このことに関して、学生時代に読んだ「赤い卵の謎」とい

う本に興味深い記述がありました。北海道はホトトギスがいらないはずなのに、なぜかウグイスの巣に赤い（チヨコレイト色）卵が産み付けられている。その正体は近縁のツツドリで、本州ではセンダイムシクイに托卵するため白地に斑点のある卵を産んでいるが、北海道ではウグイスに托卵するようになったため、卵の色をチヨコレイト色に変化させたというものでした。今後さらに違う種に托卵するようになって、卵の色がまた変化するかもしれません。

6月頃には府中町にも渡来していることでしょう。夜寝る前に窓を開けて耳を澄ましてみてください。姿は見えませんが、特徴のある声が空を移動するのを耳で感じる事ができるでしょう。

府中町文化財保護審議会委員

佐伯 昌彦

消費生活相談

新聞の定期購読契約は途中でやめられる？

相談内容



訪問販売で新聞購読契約をしたが、夫がどうしても読みたくなというのでやめたい。取扱店に言ったが取消はできないと言われた。契約時、今年の1月から1年間のことになっており、契約時にはトースターや入浴剤をもらっている。取扱店に話すと後日話をしに来るといので、その前に情報を得たいと思った。（50歳代 女性）

アドバイス



訪問販売で契約した場合、契約書を受け取った日から8日間はクーリング・オフできますが、その期間を過ぎると一方的な解約はできないので、中途解約をお願いしていただくように話しました。

新聞の訪問販売に関する契約トラブルは、多くの相談が寄せられています。訪問販売での新聞の購読契約は、次の点に十分注意して慎重に行い

ましょう。

◆高額の景品は受け取らず、景品につられて契約しないようにしましょう

◆長期間の契約や、申し込みをしてから数年先から始まる契約は避け、先の見通せる範囲で契約しましょう

◆「いつでも解約できる」などと勧誘されても、セールストークだけをうのみにせず、購読契約書の内容をよく確認しましょう

◆望まない契約をしてしまったも契約書面を受け取って8日間はクーリング・オフができます

◆トラブルになったときのために、購読契約書の控えは必ず保管しておきましょう

消費生活相談員による
相談窓口

町民生活課(役場4階)

☎286-3128

月～金曜日

午前9時～正午

午後1時～4時

